

森づくり サポーターニュース

県営都市公園
びわこ地域市民の森

Vol. 89

令和6年7月1日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター) 〒524-0102 滋賀県守山市水保町2727
TEL:077-585-6333 FAX:077-585-6312
biwako@moridukuri.info <https://www.moridukuri.info>

森の生き物たち (1 : 植物)

森の生き物たちについて4回に分けて紹介しましょう。

びわこ地球市民の森は、天井川だった旧野洲川南流跡を埋め立て、起伏をつけました。防災用水路を新たに通し、2001年から裸地に植樹を始め豊かな生態系づくりを進めました。指定管理初年の平成26年度(2014年度)から県との約束で、毎年専門業者に生き物調査を依頼し推移を見ています。年度別調査のまとめは展示室に置いています。昨年度末に全まとめをホームページ(HP)に掲載しましたのでご覧ください。

さて第1回は植物について紹介しましょう。HPでは森の生き物図鑑の中で、水辺、草本、木本の順に紹介しています。2度の477バイパス工事による洪水の防止対策浚渫工事では、親水空間がなくなり貴重なタコノアシやヒメビシ等が姿を消しました。オオバナミズキンバイは駆除中で、毎年限られた場所に出るオオキンケイギクはその都度駆除しています。春や秋の七草は自然生えと植えたものがあります。外来種では、水辺のヒレタゴボウ、地上のメリケンカルカヤ、セイヨウヒキヨモギ等が目立ち困っています。

木本は苗木植樹が90種類約16万本でしたが、現在間伐して6万本程度になっています。公園樹として成木も各ゾーンに多数植えられました。また、新樹種の追加植樹も10種類あります。ふるさとゾーンでは竹林を含む河畔林をそのまま残しており、クヌギやムクノキ、シロダモ等の中高木や低木、ウバユリ、ホウチャクソウ等の草本類が見られます。令和4年度から指定管理者が変わり、加えてP-PFI制度が始まりました。その提案により、出会いのゾーンに花壇とその周辺の緑化が完成しました。すでにある樹種ばかりですが、中高木150本、低木700株が植えられ、緑の繋がりを見せています。

ほとんどの草木が春に花を咲かせ、秋には雌雄異株の雄株以外は実を付けます。引っ越し虫といわれるアメリカセンダングサやイノコズチ、ヌスピトハギ等も含めて観察してもらいたいと思います。森はまだまだ間伐を進めますが、生態系のベースは土壌でありその上に育つ植物たちです。シーズンを問わず、来園された時は森の草木を観察しましょう。



ふれあいゾーン、樹林を通して四阿が見える



重要種 タコノアシ 全園の水路



つどいのゾーン、2月の風景

公園内の整備が進んでいます

○公園内河川（里の森ゾーン）浚渫工事

梅雨時期や台風などで大雨が降ると、公園内の河川は、上流の畠地からと周辺の道路からの流入で一気に増水します。その排水管の口が浸かるほど増えると、周辺道路が冠水し始め、近隣に大きな迷惑をかけます。なので、下流のふれあいゾーンへ速やかに流すために、里の森ゾーンで、川幅を広げる工事が行われています。

一部、公園内の通路や橋が通れなくなり来園の皆様には迷惑をかけています。2年前に、里の森ゾーンとふれあいゾーンの川底を下げる工事が行われ、今回は、里の森ゾーンの川幅を広げ斜面を削る工事をしています。

法面のヨシ・スゲ等の草が刈られて、オオヨシキリの声が聞こえなくなりました。カヤネズミも他の草地に逃げていることを願っています。土手も削り取られて一見無惨です。野洲川南流の時の流路あとを思わせる砂利と砂の層も観察できます。

しかしよく見ると、ヨシの地下茎の断片がありますし、法面が仕上がってひと月になる場所では草が生えだし、緑が覆いつつあります。

浚渫前は流路もわからないほどヨシが茂り、草地として安定していますが、「生物多様性」の観点からは、刈られる・削られるという「攪乱」は、非常に重要なイベントです。発芽に光が要る植物や深く埋もれたタネにとって、絶好の「チャンス」になります。

今後、裸地から草地への変化や植物の種類の変化を観察する機会・フィールドとなります。

しかし大自然の洪水や津波・土砂崩れなど、災害につながるような「攪乱」は困ります。

また、公園管理、安全の面で、ボールが転がったり、人が滑り落ちたりしないよう、注意・周知が必要となります。



浚渫前(ヨシが茂る様子)



浚渫工事中



草地刈取後



完了後の法面のヨシの地下茎と発芽



掘削法面の草地の復元

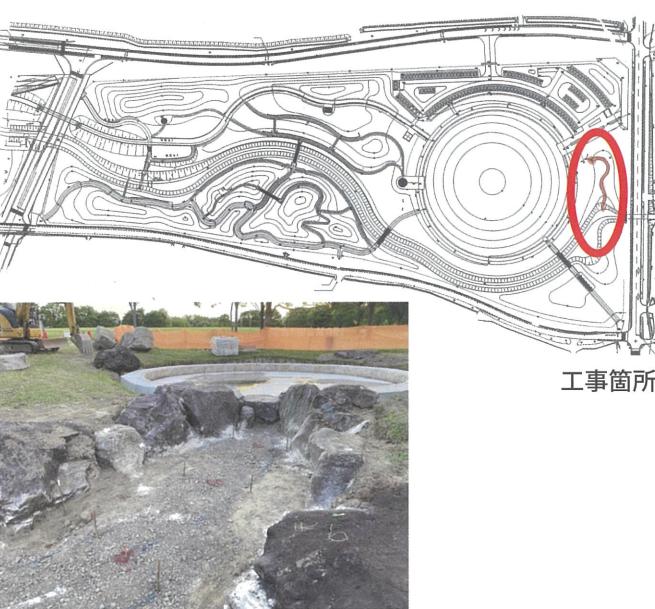
○出会いのゾーン「せせらぎ水路」の整備工事

パークPFI事業の特定公園施設のひとつで、少雨期の公園内河川の澱んだ水の押し流しや、親水空間の創造などを目的に、せせらぎ水路を整備しています。足を水につけてお話しできる、飛び石にしゃがみこんで流れを見たり、子どもたちが「せせらぎ」に入ってバシャバシャ遊べる場所をつくっています。

以前から「公園内に水遊びができる場所はないですか?」「水遊びできる場所をつくってほしい」という声がたくさん寄せられていました。

公園内の河川は、上流の畠地からと公園左右の道路の雨水が入りこみ大雨の時には一気に増水し、乾期にはほとんど水の流れがなく、また、川底は畠土のヘドロも多く、川の土手はヨシ草が生え、その刈られた株は堅く危ないので、「親水」の場には向かない状況です。

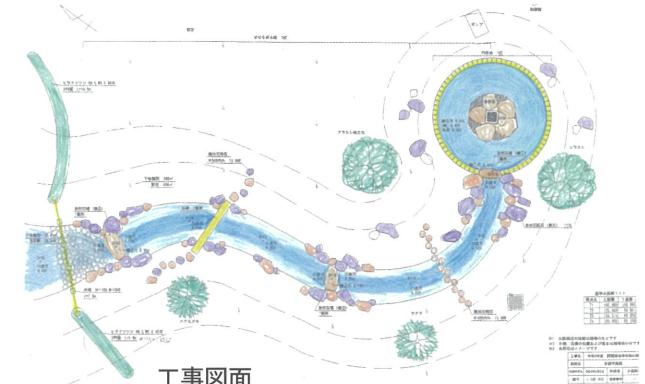
なので、出会いのゾーンの一角に、伏流水を汲み上げて「せせらぎ水路」を造っています。夏休みには「バシャバシャ」あそべるかな?



湧水池から流れ出し(工事中)



完成イメージ



びわこ地球市民の森のつどい 2024の中止について

令和6年6月9日(日)に開催を予定していた「びわこ地球市民の森のつどい2024」は、天候不順により中止となりました。

出店の準備をされていたサポーターの皆様、また、参加を楽しみにされていた皆様には大変残念ではありましたが、これからも引き続きびわこ地球市民の森での活動にご協力いただきますようお願いします。

出会いのゾーンに ～BBQエリアがオープンしました～



ゆっくりくつろげる「囲炉裏型」もあります

小さなお子様も芝生なので安心です



これだけのセットが付いて
4名様「5,000円」
(タープ・椅子・テーブル・コンロ等)
「食材・お飲み物」はご持参ください。

★詳しくは
「びわこ地球市民の森HP
(BBQエリアお申込み)」
をご覧下さい



森づくりサポーター活動のご案内

暑い時期ですが、皆さんのお越しをお待ちしています。

第2回森づくりサポーター活動

・7月20日(土)自然教室 ・7月30日(火)育樹活動

☆いずれも 受付9:00～ 活動時間 9:30～11:30

☆申込み方法等、詳細についてはびわこ地球市民の森HPに掲載させていただきます。

第2回森守こどもサポーター活動

7月28日(日) 竹林整備と水鉄砲づくり

受付9:45～ 活動時間 10:00～12:00

おしゃせ

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100～200m
植樹面積	80,808m ²
植樹期間	H13～H25
植樹活動参加者数	45,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(R5)	340,832人
森づくり活動参加者数(R5)	13,543人
うち育樹活動参加者数(R5)	3,848人



今回のサポーターニュースは、見開きで森のつどいの記事を書く予定でしたが、残念ながら森のつどいが中止になりました。かわりに公園内で整備が進んでいる工事内容についてサポーターの方々にお知らせする記事を載させていただきました。